

● 計画停電時に防災用発電機を起動させない方法について

防災用発電機の負荷はスプリンクラー・消火ポンプ等の消防設備が主であり、停電時に自動起動し消防設備へ電源を供給する非常に重要な役目を担っています。そして復電すると自動的に停止します。

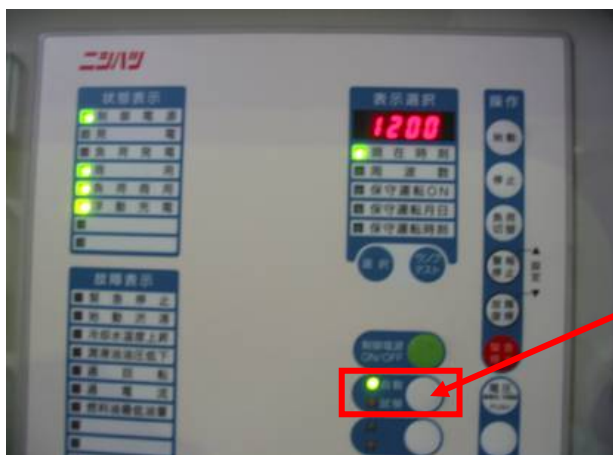
電力会社の計画停電においても、自動起動して運転しますので燃料が消費され、有事の際の燃料不足を招く恐れがあります。

こうした燃料消費を防止する為に、自動起動させない操作方法は下記を参照して下さい。

計画停電が完了しましたら、確実に自動モードへ変更頂き、有事の際の停電で自動運転する様に待機状態として下さい。

<モード切替スイッチの操作方法>

<現行の機種>



押しボタン

「モード切替スイッチ」の押しボタンを長押しする事で「自動」→「試験」へ切替り「試験」のLEDが点灯します。停電による自動起動は行いません。再度、長押しすると「自動」のLEDが点灯し自動モードとなります。

<2000年製以前の機種>



自動ポジション

停止ポジション

「モード切替スイッチ」の「自動」より右にツマミを回転させ、「停止」ポジションへ切替る事で、停電による自動起動は行いません。再度、左にツマミを回転させ「自動」ポジションにすると自動モードとなります。